

2 横浜市民の生活

物価高と住宅難

先生 さて、市民の日常生活で、なにが一番困るかといえはどうですか。

母 ええ、それはまあ、この団地でも主婦の集まりがあると、話はまず物価高のことですよ。ここに来たころ、一〇〇円だせば一〇ピキも買えたサンマが、このごろでは、一〇〇円で一ピキ買えませんものね。

先生 そうでしょうね。横浜市民を対象にしたアンケート調査によると、身のまわりの問題の困っているこ

とでは、物価という答が三八・五パーセントで一番多いですね。横浜の総合物価指数は、昭和三十年を一〇〇とすると、四十五年七月では一八九・二。全国五万人以上の都市の平均では一八八・八になっていまして、横浜はそれよりわずか上まわっているわけです。とにかく、一五年間に、物価が二倍になるいきおいです。とくに、三十五年ごろからの上昇カーブが急になっており、物価問題は、そのころから始まった政府の高度経済成長政策と強い因果関係のあることがはっきりわかります。

娘 物価は上がっても、収入がふえているから生活はよくなっているはずだ、といった意見がありますね。まったく庶民の生活を知らない人か、そうでなければ特定の政治的な意図をもった人のことばだと思われますわ。

先生 統計では、昭和四十四年の横浜市民一世帯一カ月の間の平均消費支出を四十年にくらべると、約三五・六パーセントの増加。同じく勤労世帯の実収入は三四

表 1—16 横浜の消費者物価総合指数の推移

	横浜市	人口 5 万以上の都市	
		総合	季節商品を除く総合
昭和30年平均	100.0	100.0	100.0
31年	100.3	100.3	99.6
32年	102.5	103.4	102.8
33年	102.6	102.9	103.1
34年	103.6	104.1	103.9
35年	107.9	107.9	106.9
36年	113.4	113.6	111.3
37年	121.0	121.3	117.5
38年	130.6	130.5	125.6
39年	135.6	135.4	131.2
40年	145.8	145.8	139.9
41年	152.6	153.2	147.6
42年	159.0	159.2	152.5
43年	166.5	167.6	160.7
44年	176.1	176.8	169.1
45年 7 月	189.2	188.8	178.7

注：経済局消費経済課調べ

・五パーセントの増加。両方、ほぼみあっている。一方、耐久消費財の普及率をみると、かつて三種の神器だった電気冷蔵庫・洗たく機・白黒テレビはいまでは

必需品で、そのうえに、クーラー・カー・カラーテレビの購入度合が高まっている。それに、教育やレジャーへの支出も必需的になり、また大型になってきた。

め、食料費などの基礎的な支出を切りつめなければならなくなった。そんな事情も背景にあって、庶民にとっては、物価高の重圧感がいっそう重苦しく感じられる。そういうことは、いえるでしょうね。

父　ところで、横浜の物価は、他の都市とくらべてとくに高いということはないの。

先生　総合品目でみれば、七大都市のうち東京について二番目に高いが、一つひとつの品目をみると、順位はまちまちだね。

息子　東京に近いから文化や経済の面ではおくられている。東京に近いから物価は高い。横浜市民、これではたつ瀬がないな。

先生　たしかに、横浜市内の物価は高い方です。しかしね、全国の市町村別にあたってみると、東京都を第一〇〇として横浜市の九九・二を上まわるところが、ずいぶんありますよ。総理府が、昭和四十二年にやった全国物価統計調査によると、調査した七六九市町村のうち、横浜市より高いところが六四四町あり、神奈川県

表 1-17 七大都市の消費者物価地域差指数

	総合(家賃を除く)	生鮮食料品	繊維製品	耐久消費財	公共料金
東京都区部	100.0 (1)	100.0 (3)	100.0 (4)	100.0 (3)	100.0 (1)
横浜市	99.2 (2)	96.8 (4)	97.8 (6)	102.2 (1)	97.7 (4)
名古屋市	96.6 (7)	95.9 (6)	91.0 (7)	95.1 (7)	97.7 (4)
京都市	98.6 (4)	96.0 (5)	103.4 (1)	98.6 (4)	96.1 (6)
大阪市	98.7 (3)	104.1 (2)	99.3 (5)	97.0 (5)	94.5 (7)
神戸市	98.2 (5)	95.6 (7)	100.4 (3)	96.3 (6)	99.3 (2)
北九州市	97.8 (6)	108.9 (1)	101.5 (2)	100.3 (2)	98.1 (3)

注：東京都区部を100とする。カッコ内の数字は物価高の都市別順位

資料：「横浜の物価 昭和44年」(総務局統計課)

県下でも五市町が横浜市より高い。参考までにいえば、全国で一番高いのは鹿児島県名瀬市の一〇五・八で、一番低いのが徳島県上板町の八九・三でした。

娘 私、統計の数字はあまり信用する気がしないけれど、数字といえ、生活水準の指標だというエンゲル係数——食料費が家計支出に占める割合——は一貫して下がっていますね。都市勤労世帯の平均では、たしか三三パーセントぐらいになっていたように思います。

先生 横浜市の勤労者世帯の一カ月の収入は、昭和四十三年で一五万六、〇〇〇円です。これは一人の収入ではなく、横浜の場合、一勤労者世帯には一・五七人の職業をもった人がいることになっているから、その分の収入ということになります。このうち、所得税・貯金・借入金返済などにあてられるものを除いた消費支出は、七万七、〇〇〇円です。消費支出で伸びがいちじるしいのは、住居費や雑費などです。これは全国の場合と一致するものですが、横浜市の場合、住居

費と被服費が全国平均の伸びを上まわっています。とりわけ、住居費の伸びが大きく、住居費支出の家計支出に占める割合が大きくなっているといえます。市域外から流入する人口が多い横浜市の特徴だと思います。このように生活様式の変化などにもなって、食料費以外に支出するものがふえる傾向にあります。ですから、エンゲル係数が下がっているといっても、それだけで生活水準がよくなっているとか、生活が楽になっているとはいえないでしょうね。

母 それに、同じ収入でも、持家の人と借家の人で、はずいぶん負担がちがいますよね。

先生 住居の形態と住居費支出の関係を調べてみますと、持家の人は住居支出で平均を下まわっているが、食料費・被服費・雑費などの費目では平均を上まわる支出をしています。他方、民営・公営を問わず借家の人は、住居費支出で平均を上まわっており、他の費目では下まわっています。とくに民営借家の人は、平均を二二パーセントも上まわる住居費の支出を余儀

表 1—18 六大都市市街地価格指数の推移

	総合	商業地	住宅地	工業地
昭和30年	106	104	108	106
31	130	125	130	136
32	171	152	170	188
33	205	163	211	240
34	257	197	269	311
35	380	291	348	486
36	644	471	557	915
37	778	524	693	1,107
38	915	598	846	1,301
39	1,047	678	998	1,465
40	1,090	703	1,050	1,516
41	1,114	716	1,107	1,520
42	1,196	774	1,210	1,602
43	1,328	846	1,395	1,742
44	1,560	988	1,676	2,017

- 注: 1. 昭和30年3月=100
 2. 日本不動産研究所調べ、
 3. 各年とも9月時点

なくされています。借家の人は、それだけ住居費支出の負担が重く、他の消費支出を切りつめていることがはっきりとわかります。

父 だれも好きこのんで借家住まいをしているわけはなかるうに。家をもとうと思っても、地価がこんな

ではね。うちでも、三〇年間ひたすら働いて、それで住むに家なし、ということになりそうだね。

先生 全国市街地価格指数を、日銀の卸売物価指数と比較してみましよう。戦前は地価の上昇率は卸売物価より小さく、この傾向は昭和二十六年ごろまで続きま

した。その後はほしだいに地価の高騰が強まり、三十年以降はうなぎ上りの上昇をしました。その結果、四十四年の時点でみると、戦後二五年間で地価はおよそ一、九〇〇倍、卸売物価はおよそ一二四倍になっています。地価の上昇率の激しさは、目をおおうばかりです。母 たしかに所得番付の上位には、地主の人が多くなっていますね。

息子 汗を流して働かないでも、土地さえもっておれば、という世の中。しんぼうできないな。

先生 地価の高騰をもたらした主因の一つは、生産能力の拡張に力をいれた高度経済成長期に、産業用地を、多少の高値でも先を争って買い求めた民間企業の動きです。それが他の農地や宅地に波及する状況が、全国的に発生しました。最近は大規模な公共事業による土地買上げの問題もあり、また住宅産業、民間デベロPPERという形で、都市周辺の土地が民間不動産業者によって買い求められ、地価をつり上げています。

娘 どちらにしても、その被害者は私たち勤労家庭で

すわ。家を建てるのは、ほとんど絶望。そればかりか、都市のみどりもすっかり破壊されてしまつて。

先生 まったくその通りですが、被害者は、一人一人の市民ばかりではありません。横浜市のように急激ないきおいで市街地が広がっているところでは、学校建設・下水道整備・河川改修・道路整備などの行政需要が多いわけですが、地価の高騰が大きな障害になっています。つまり、建設の用地費があげれば、それだけ多額の財源をつぎこまなければならぬ。たとえば、横浜市の四十五年度予算の一般会計は九〇七億円ですが、建設投資が三八〇億円と四〇〇パーセント強で、うち、用地費は一四〇億円です。なんと全予算の一五パーセント強、建設投資の三七パーセント弱をしめています。さらに今後も、公共用地を必要とする事態はふえる一方です。横浜市の調査によると、昭和四十六年度から四十八年度の三カ年に必要とする公共用地は、三八九万平方メートル、八〇〇億円という大きな金額になります。市の財政にとっては、まさに大きな脅威

です。

父 市民にとつて、シビルミニマムの確保は、ますます困難になるわけだね。

娘 そのシビルミニマムの大きな要素であるはずの住宅では、多くの人たちが、ミニナム以下の状態なのでしょう。

先生 横浜市の住宅難世帯は、昭和四十三年の住宅統計調査から推計すると、一〇万三、三〇〇世帯で、総世帯数の一九パーセントが住宅に困っているといえます。このうち六畳未満の狭いところに住んでいる家族が、二万九、七九〇世帯もあります。横浜市内の一世帯平均は三・五人ですから、この狭小世帯は、ミニナムどころか、ほとんど住居としての条件をもっていない状態といえます。

母 それで、横浜市では、どのくらいの市営住宅を建てているのですか。

先生 昭和四十五年度予算では約一、〇〇〇戸です。現在、市営住宅一戸あたり用地費をふくめて二八〇万

円の建設費がかかり、山積みする財政需要の中で住宅建設にふりむけられる力は、これが精いっぱいともいえましようか。年一、〇〇〇戸の建設数は、住宅難世帯のおよそ一・三パーセントであり、横浜市での住宅難にたいする市営住宅の寄与率は、はなはだ低い。しかし、全国的にみて適切な土地対策や都市政策がない現状では、住宅問題は、一個人ではもちろん、一自治体でも解決できる範囲をこえているといわざるをえません。

娘 そうはいっても、住宅政策にたいする中央の政治や行政の限界は、これまでの実績でもう証明ずみのように思われます。一方、不合理な地価の問題やひどすぎる住宅難は、すでに働く市民のたえられる限度をはるかにでているといっても、いすぎではないと思います。公害問題では、地域住民がまずたち上がり、世論もこれを支援していますが、土地や住宅問題の解決にたいしては、いったいなにが推進力になるのでしょうか。

交通難

父 物価高・住宅難——どちらも無限に忍従できる問題ではないが、交通問題もまた切実だね。

先生 横浜市の場合、昭和四十四年一年間の交通事故は、死者二四五人、負傷者一万八、九二一人で、市民一万人あたり九〇人弱の割合です。一〇〇人に一人が死傷する時は、もうすぐでしようね。

息子 きのはあそこで、きょうはここで。まさに自動車 of 辻斬り横行時代だ。

娘 後世の人たちは、昭和をすいぶん未開時代だと思うことでしょうね。

先生 しかもなお、かぎりなく車がふえる。横浜でも一〇年前の五万台が、いまは二七万台になっています。それも、小型乗用車がトラックをしのぐふえ方をしてるのが目立ちますね。四十四年末の全国の自動車登録数は一、五〇〇万台といえますから、一〇年前の六・三倍です。

娘 たしかに、一台一台の車の快適さ、便利さはわか

ります。でも、都市の施設との調和を考えもしないで、年間生産四五〇万台の車がむやみに売りだされる結果はどうでしょう。人間が車の大集団に襲われて、都市の快適さも安全もすっかり破壊されてしまった形ですわ。

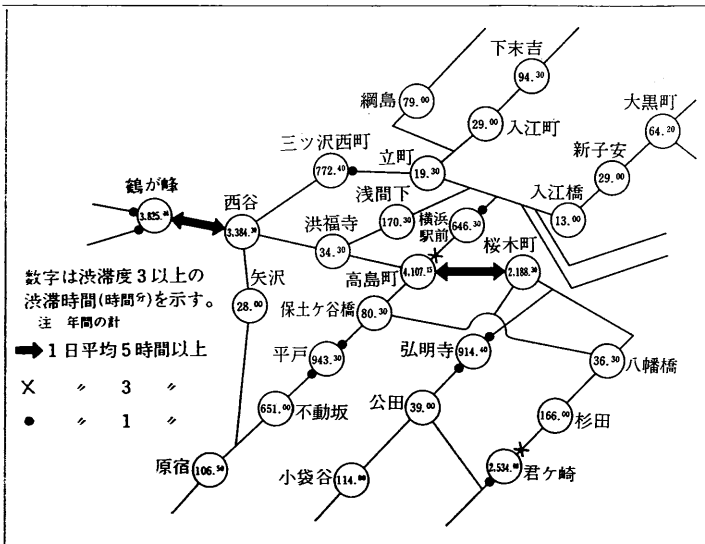
先生 そこで、こんなに車がふえるなら、その車のいれ物を大きくしなければならぬというので、「道路をつくれ」「道幅を広げよ」と躍起になる。現に自動車の先進国は、高速道路にたいして巨額の投資をかさねました。しかし、どんなに道路の容量をふやしてみても、自動車会社のベルトコンベアーから街に流れでる自動車の数が、つねにそれを上まわる。わが国でも、道路行政のたち遅れが指摘されており、なるほど、それはその通りですが、いまの国や自治体の財源のワク内で抜本的なことをやるとすれば、どうしてもほかの行政需要が圧迫される。道路のために住宅が建たない、自動車道路のために生活道路がおるすになる。だから、自動車の生産や乗入れなどを野放しにしておいて、自

動車のいれ物としての道路の面からだけで交通問題を解決することは、むずかしいといえますね。

息子 それでは、生活道路には力をいれるが、大きな道路はもうつくりたくないということですか。

先生 それは、ちょっと違うな。市では幹線道路も決しておろそかにしてはいけません。もつとも、だからといって自動車を入れるために、むやみに大きな道路をつくればよいという考えではありませんが。いままでは、市民の日常生活があまりにも無視されてきた。それに、東京中心ではあっても、横浜を中心に考えた道路計画は少なかった。そこで市民を交通災害からまもり、市民活動の効率性を高めるといふ観点から考えなおして、道路づくりをしていこうというわけでしょう。もちろん、横浜の主体性を生かした道路をね。港や臨海工業地帯に出入りする車をなるとだけ都心部にいないため高速道路の建設や、市内最大の交通難所である高島町交差点の立体化なども積極的にすすめていますよ。また、磯子から市の内陸部を通って鶴

図 1-4 地点別交通渋滞状況



見にいたる大きな環状線をつくる計画もすすめられて
いるようです。

母 とにかく、自動車に追い立てられるように、市電
もやがてお役ご免になりますね。

息子 バスだって、自動車に包囲されてノロノロ運転。
学校へ行くのに時間があてにならなくて困るよ。

先生 昭和三十五年と四十四年をくらべると、横浜市
の市電の走行速度は、一時間一五・四キロメートルか
ら一二キロに下がり、バスも一六・三キロから一四・
九キロ、とくに混雑するところでは一〇キロそこそこ
にまで落ちていますものね。東京都の例では、バスが
時速で一キロ早くなれば、年一〇億円増収になるとい
われています。

娘 何十人も乗客を乗せたバスが、一人二人しか乗
っていない乗用車に取り囲まれて動けないでいる。な
んとも不合理な光景ですね。

先生 まったくその通り。大衆のための輸送機関であ
るバスの優先運行が絶対必要です。乗用車の都心部乗

入れ制限や、バスの専用レーンをもうけるなど。だが、
もう少し根本に目をむけるならば、地下鉄のような大
衆輸送機関を軸に、大都市交通体系の再編を必要とす
る時期ですね。地下鉄は横浜市でも、すでに工事が進
んでいます。

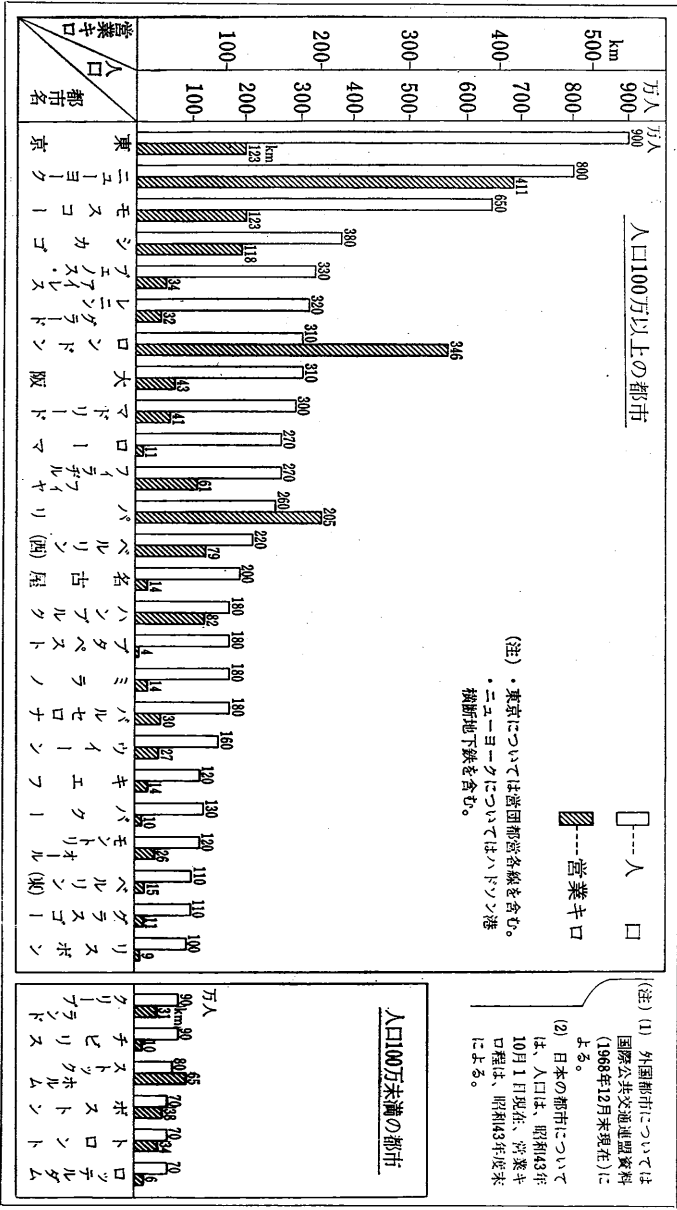
母 そういえば、上大岡と関内のあいだで、地下鉄の
工事をやっていますね。

先生 湘南台—上大岡—尾上町を結ぶ一号線ですね。
あれができる、戸塚・瀬谷・南・港南各区のうち、
鉄道に遠い地域の人が都心にでるのに便利になる。そ
れから本牧—尾上町—横浜駅—新横浜駅—港北ニュー
タウンを結ぶ三号線も、横浜駅と山下町のあいだはと
くに急がれています。

父 いつできる計画ですか。

先生 この前、市役所の人から聞いたところだと、一
号線の上大岡—長者町間が四十七年早々、長者町—尾
上町間と三号線の横浜駅—山下町間は四十八年度中に
開通するということでしたが。

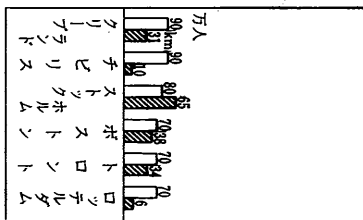
図 1—5 世界の地下鉄の現状



(注) ・東京については営団都営各線を含む。
 ・ニューヨークについてはハドソン港横断地下鉄を含む。

(注) (1) 外国都市については国際公共交通連盟資料(1968年12月現在)による。
 (2) 日本の都市については人口は、昭和43年10月1日現在、営業キロ程は、昭和43年度末による。

人口100万未満の都市



父 そのほかには、どんな計画があるのですか。

先生 二号線は屏風ヶ浦―吉野町―横浜駅―神奈川新町を結び、四号線は鶴見―末吉橋―港北ニュータウンを結ぶ計画で、昭和六十年までに完成する目標のようです。

息子 ずいぶん気の長い話だな。

先生 そうはいつても、地下鉄の建設費は大変なんだよ。一号線と三号線の横浜駅―山下町間をあわせて一四・一キロメートルで六三四億円。全体だとはじめの計画では一、五〇〇億円といわれていたが、実際はもっとかかるだろう。資金は主として起債なのだが、なししろ四十五年度の横浜市の税収が四三八億円だから費用の点からみても大事業だということがわかるでしょう。

息子 では当分は、ノロノロ・バスでしんぼうするわけですね。

娘 地下鉄が早急にできると仮定しても、バスのスピード・アップは当然、考えなきゃならないですよね。

先生 さっきふれたように、バスの優先運行はどっちにしても、絶対に必要です。

娘 じゃあ、乗用車の規制はどうしても。

先生 ええ、都市を私たちのものとするためには、もうそろそろ、勇気をもって車に立ちむかう覚悟がなくてはね。

母 車の規制といえば、伊勢佐木町へ行くと、ほんとはっとしますねえ。ふつうの日でも車がいらなくて。

娘 あそこ、車道にガーデン・パラソルが五〇も六〇もずっとならんでいるでしょう。その下にテーブルがあって、イスがあつて、外人の子供がそのあいだをかきまわっていたり、年よりが黙って休んでいたりと、かと思うと、若いアベックがアイスクリームなど食べたりにして。何年か前、関西の友だちがきた時、いっしょに行ったら「夢のようやわ」だって。

先生 伊勢佐木町の商店街の人たち、たしかに先見の明がありましたね。土・日・祭日の午後、自動車を

いれなくしたのは、なにしろ、昭和三十六年六月一日のことですから。もちろん、地元の結束した運動なしには実現しないことでしたが。それから地元の人たちは、こんどは平日も乗入れ禁止にしようと、警察はもちろん、県や市に陳情を続けました。たまたま四十年八月、伊勢佐木町の真中で一酸化炭素の検査をしたところ、なんと三八ppmという数字がでた。それで、歩行者の安全だけでなく、商店の従業員の健康のためにも、ということとで各方面に働きかけを続けました。やっとのことで、四十五年の七月六日から、平日でも午後一時から七時までの車の乗入れ禁止の実現をみました。

息子　じゃあ、日曜日だけの東京よりも早かった。あれは八月からだから。

先生　そうですね。ニューヨークの歩行者天国も、七月十一日でしたね。

娘　それにしても、あれだけわずかな空間を自動車から取り返すのにも、それを実現するためには、ずいぶ

ん時間と労力がいるものですね。

環境汚染

先生　時間と労力。それは公害問題も同じですね。

父　公害といえば、日本鋼管の扇島移転からんだ横浜や川崎などの自治体と鋼管本社とのppm論争、ずいぶん長く続いたようですね。

先生　川崎市と横浜市の鶴見区にまたがる京浜製鉄所を、昭和五十三年末までに扇島を埋め立てたところへ移転する計画があることは、前にお話しましたね。これにたいして神奈川県・横浜市・川崎市は、四十四年から扇島埋立対策協議会をつくり、移転計画を検討してきました。そして、この計画を認めるための条件を鋼管にしめし、交渉を続けてきましたが、そのなかで公害の規制問題が最大の論点だったようです。鋼管の計画では、製鉄所が排出する亜硫酸ガスの最大着地濃度は、〇・〇五ppmとなっていました。これにたいして協議会側は〇・〇一ppm以下とするように要求

していましたが、結局、〇・〇一二ppm以下ということで四十五年九月に合意がなされています。

母 そうすると、自治体の側も、すこしゆずってしまつたんですね。

先生 濃度についてはそういうことになりましたが、亜硫酸ガスの総排出量は、協議会の要求した一時間あたり八七七立方メートルを大きく下まわる六五〇立方メートルということになっています。それに濃度にしても、これまで一番濃度が低かったのは新日鉄・大分の〇・〇四七六ppmですから、かなりきびしいものであったことがわかります。これまでの鉄鋼業界の常識を破る世界的な水準だとさえ、評価されています。

娘 たしかに、そういうふうに評価できるとは思いません。しかし、私、さきほどから都心部や臨海部のお話を聞いてきた感じでは、大都市に大きな工場が存在すること自体に問題があるように思われます。扇島に移転したら、また何十年かは……せっかく移転するならば、いっそ都会から離れた工場の適地へいってもらう。こ

のさい、そういう横浜方式はどうでしたか。

父 いまのいろんな状況からみると、残念だがまだちょっと現実的ではないだろうな。

母 それで、鶴見や神奈川の空も少しはきれいになるのでしょうか。

先生 現在、京浜製鉄所から排出されている亜硫酸ガスの最大着地濃度は〇・二二ppmときわめて高く、京浜地区の空のよごれの一五パーセントぐらいをしめている、といわれています。ですから、京浜地区の空のよごれはかなり改善されるといえます。横浜市はこれまで、全国的に有名な横浜方式といわれる独自の公害規制を積み重ねてきました。こんどの扇島の公害規制も、これから製鉄所を建設するさいのモデルケースとなるでしょう。すでに千葉県では〇・〇三ppmで妥結していた製鉄所の建設を、さっそく扇島なみにするようになりました。

母 横浜方式という公害の規制が、ずいぶん効果をあげているということですが、鶴見や神奈川の工場地帯

では、あいかわらず工場からどぎつい色の煙がでており、ピンとこないのですが……。

先生 横浜方式の公害規制は、本牧や根岸の埋立地に新しく工場を建設する企業にたいして、協定により公害の規制をおこなっているのです。このように新しく工場を建設する企業などには、公害の規制はわりあいスムーズにできるようですが、鶴見や神奈川などで、すでに活動している工場の規制は、なかなかむずかしいようです。しかし、市では現在、このような既設工場にたいしても、公害を防止するため工場と話し合いをすすめています。

娘 鶴見などの工場地帯の小・中学生の肺活量は、郊外部の生徒とくらべると三〇パーセントも低いということですよ。空気が汚れているから自然に吸いこむ量が少なくなり、知らず知らずに肺活量が少なくなってしまうのです。まったく、おそろしいわ。寛政中学では、とうとう夏でも窓をしめきっておける空気清浄器を取り付けたそうですね。

先生 煙突からでる煙のなかには、いろいろな物質がふくまれています。一番問題になるのは降下ばいじんと亜硫酸ガスです。ばいじんは石炭の使用量が横ばいになっていることと、集じん装置が発達し、その普及が進んだため、どんどん減ってきています。だが亜硫酸ガスは、重油の使用量がふえていることなどから、まだ相当高い濃度で空気を汚しています。

息子 住民に迷惑をかけていることについて、工場のえらい人たちは、どんな気持ちをもっているのかな。

先生 「京浜に青空を取り戻す会」という住民組織のアンケート調査（四十五年九月）にもあらわれていますが、公害にたいする企業の認識や自覚は、まだまだたりないようです。この調査は、横浜・川崎の臨海地帯の大企業で、自治体が公害発生のも有力企業として選んでいる七五企業にたいして、住民の立場から調査したものです。回答は四〇パーセントにあたる三〇社からありました。そして、企業成長より公害防止を優先すると、はっきり回答したものは、わずかに二社だけ

でした。

父 われわれの常識とはひどくかけ離れているが、まあそんなものだろうね。結局、公害をなくすためには、住民・市民が強力に運動するよりしかたがないだろうね。扇島の問題でも、市民の積極的な支持があったので、自治体も頑張れたのだろう。

母 新聞にもでていたのですが、本牧沖に工場のヘドロが不法に捨てられ、そこから異常に高い総水銀がでたといいますね。

息子 あのときだって、わかっていながら、関係者はなかなかデータを公表しなかった。

娘 はぜ釣りで有名な平潟湾からも、異常濃度のシアロンが検出されたそうですが。

先生 東京湾は、いまや泥海になっているといってもいいでしょう。ヘドロの中には、水銀・シアン・カドミウムなど、多くの有害物がたい積していて、汚染はのっぴきならないところまでできています。これ以上放っておいたら、すっかり少なくなった魚も、そのうち

には、まったく姿を消し、海中のあらゆる生物が絶滅してしまうかもしれません。海はよごれた空気を波できれいに洗い流す浄化力をもっていますし、海藻類は炭酸ガスを吸って、かわりに酸素をもたらししてくれます。つまり、東京湾は大森林といってもよいのです。また市民にとって、海水浴や潮干狩などのリクリエーションの舞台でもあるはずですよ。

息子 ほんとにその通りなのに、どうしてこんなに汚れるままに放っておくのだろうか。

先生 端的に言って、国民所得を世界第二位に押し上げた生産活動の産業廃棄物が、どんどん水質を悪化させているといえます。海や河川の水質保全にとって致命的ともいえる欠陥は、汚染を防止するための法律がまったく無力だということです。たとえば、国民の健康をまもるための環境基準では、有害なシアンや水銀は検出されてはならないとされているにもかかわらず、シアンは工場の排液中では一ppmまで認められているという矛盾があります。また、きびしい環境基準は

あつても、目標の達成を昭和五十年においているなど、これ以上の汚染をくいとめるには、あまりにも無力といえましょう。東京湾など汚染がはなはだしい水域は、目標年次を繰り上げ、これに見合った排出制限を工場にとらせていく強い政治・行政措置がとられなければなりません。そのほか、ほとんど野放しに近い海洋投棄にたいするはつきりとした取締り対策を、早急にとる必要もあります。

息子 今年の夏は、光化学スモッグという新しいかたちの大気汚染が、降ってわいたように発生しましたね。父 光化学スモッグによる実際の被害がでたのは、今年がはじめてだけど、こうした事態になるだろうということは、数年前から予想されていたそうじゃないですか。それにもかかわらず、なんの対策もとられていなかった。スモッグが発生したら、外にでるな、被害を受けたら目を洗えというのでは、はなはだ心細いね。先生 アメリカのロスアンゼルスは、一〇年も前から、この光化学スモッグに悩まされてきたわけで、日本で

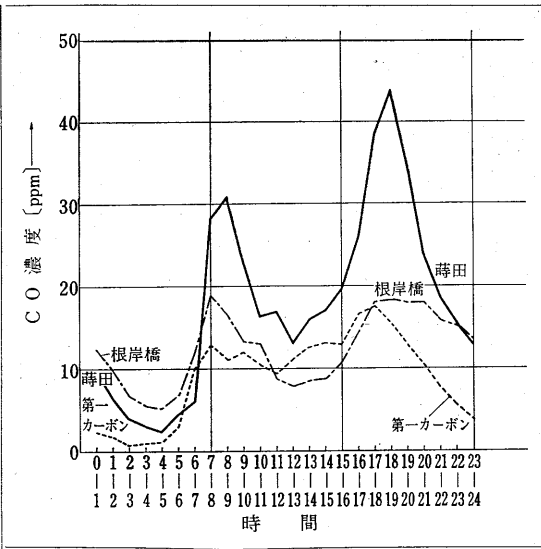
もおそかれはやかれおこるだろうということは、専門家の間では予想されていました。なぜ光化学スモッグが発生するかということは、まだ科学的に完全には解明されておりませんが、自動車の排出ガスにふくまれている窒素酸化物と炭化水素が、おもな原因であることはまちがいありません。

母 自動車の公害といえば、鉛とか一酸化炭素もそうですね。

娘 たしか、磯子区の森町だと思いましたが、交通じゅう滞のはげしい道路沿に住んでいる人の中に、目まいや吐き気、頭痛など、一酸化炭素の中毒特有の症状を訴える人が続出しているそうですね。

先生 横浜市では、車の流れの多い地点一〇カ所で、排出ガスの測定をおこなっています。それによると、かなりの濃度になっています。政府が定めている環境基準では、一酸化炭素の濃度は二四時間の平均値が、一〇ppm以下でなければならぬことになっています。ところが根岸橋では、この基準にあう時間帯はわ

図 1—6 1日の一酸化炭素濃度の変化(市公害センター)



ずか三・二パーセントにすぎません。また一酸化炭素の濃度は、道路の幅など道路の構造に大きく左右されています。南区の蔦田の調査地点は、やっと車がすれちがえる程度の狭いところなので、日中一時間平均の

表 1—19 自動車排出ガス関係測定表

(市公害センター)

	磯子区 根岸橋	緑区 池辺町	南区 蔦田町	鶴見区 区役所前
一炭酸				
1時間あたり平均値 (ppm)	12.6	9.1	18.0	7.3
化素 *環境基準をこえる発生率 (%)	96.8	23.7	100.0	0.0
鉛				
日中8時間平均値 (Mg/m ³)	6.37	2.20	2.90	3.51
日中1時間平均自動車通過数(台/時間)	2,788	1,087	791	1,603

注: 1 * は1時間づつずらして連続24時間をとリ、その1時間平均が、環境基準(10 ppm)を上まわって発生した率

2 調査期日 昭和45年6月~7月

自動車通過量は七九一台で鶴見区役所前の半分以下なのに、一時間あたりの一酸化炭素の濃度は鶴見区役所の二・五倍にあたる一八ppmとなっています。このため、鶴見区役所前では、一〇〇パーセント環境基準以下でしたが、蒔田では逆に一〇〇パーセント基準以上でした。一酸化炭素の濃度は、朝夕の交通ラッシュ時に急激に上がり、夜間はずっと下がっていますので、自動車が発人であることは明らかです。鉛の方は、政府の基準は一日平均、空気一立方メートル中、五マイクログラム以下となっています。日中八時間平均でこの基準を上まわっているのは、根岸橋だけです。しかし、自動車の交通量がどんどんふえていることを考えると、早く対策をたてないと大変なことになります。

息子 どうしても、わからないな。空気も海も、一夜にして汚れたというのではないのに、どうしてここまでできてしまったのか。住民や漁民がせっぱつまってさわがなければ、世間は動きださない。わからないな。

危険な都市生活

先生 公害はじょじょに、しかも確実に私たちの生活を犯していますが、都会には不確定だが可能性のある危険がどこにもありますね。

母 住宅地と隣りあった化学工場がたくさんあるけど、あれは爆発事故でもおきたら大変ですよ。

父 横浜には、石油コンビナートやいろんな化学工場の貯蔵タンク・プラントをもつ臨海工場地帯がある。

なにかで読んだことがあるが、この京浜工業地帯には四、〇〇〇以上の危険物貯蔵タンクがあるそうだね。

娘 もっと身近な所にも危険なものはあるわ。たとえば、ガソリンスタンドや各家庭にあるプロパンガス・ボンベも爆発しますもの。

先生 横浜市内には昭和四十四年現在、危険物施設が七、三六〇カ所もあります。一〇年前にくらべておよそ二・五倍になっています。一方、人口はふえ続けており、人口密度はすでに一平方キロメートルあたり五、〇〇〇人をこえており、都市の過密化は進む一方です。

この危険物施設は、全市域にわたって混在している状態ですが、その中でも集中しているのが鶴見区・神奈川区・戸塚区で、それぞれ二、六四一カ所、八七七カ所、六四八カ所です。この三区で、市の危険物施設全体の五六パーセントをしめていることがわかります。

また都市ガスを供給しているガス管の埋設は、全市域内で二、五〇〇キロメートルにおよんでおり、今後も郊外部を中心に伸びるものと思われます。これらはほんの一例ですが、都市生活の中にはいろいろこんでいるエネルギー供給源や生産諸施設は、他の自然災害や人為的なミスによってたちまち危険物となる可能性があります。

父 元東大地震研究所長の河角博士は、過去の統計から南関東大地震の子測をしていますね。それによると六九年周期説を割りだしている。六九年プラス・マイナス一三年の危険期の幅をとると、ほぼ一〇〇パーセントの確率で大地震がくるそうだよ。

母 そうすると、大正十二年（一九二三年）の関東大

表 1—20 危険物施設状況

年度	総数	製造所	貯蔵所	取扱所	給油取扱所
40	5,443	129	4,032	1,282	470
41	5,832	121	4,319	1,392	499
42	6,429	130	4,668	1,631	562
43	7,165	132	5,131	1,902	634
44	7,361	129	5,158	2,074	684

注：取扱所の数は給油取扱所の数を含む

震災のつぎの危険はいつごろかしら。

父 つぎの危険期は、河角博士の説によると昭和五十二年だから、七年後ということになるね。

先生 都市のなかに蓄積されているエネルギー源や生産諸施設の存在を考えると、現在の都市がこうした複合災害を引きおこす大地震にたいして、どの程度の防災能力があるかが問題になると思います。昭和三十九年におきた新潟地震は、震度五（マグニチュード七・五）でしたが、特異地盤のために重量建築物が倒れたり、石油コンビナートのタンクが爆発して燃えました。この新潟地震の例は、都市の地震対策に問題を提起していると思います。つまり、中・高層建築物の耐震性や石油タンクの防災性は、決して個々に強化するだけでは安心できないということです。

息子 新潟地震の時には、どの位の被害が出たのですか。

先生 石油コンビナートの昭和石油のタンクが出火し、八四基が三六〇時間にわたって燃え続け、木造住宅の三三〇世帯を灰にしまいました。死者は二九名におよび、倒壊全焼家屋は一、七七〇戸でした。

娘 もし、横浜が関東大震災のような地震にみまわれ

たら、大変なことになるでしょうね。

先生 大正十二年の関東大震災の時には、横浜地域だけで二万三、〇〇〇余人の人が死亡しています。当時の旧市街地人口が四四万六、〇〇〇人だったことを考えますと、その犠牲の大きさがわかってもらえるとします。その原因は、倒壊戸数二万五〇〇戸、百数十カ所からおこった火災によるものでした。最近の防災計画によると、関東大地震と同じ規模の地震がおこれば、横浜市内では五万五、八〇〇戸の家屋が倒れ、五九〇カ所で火災がおこると想定しています。また関東大地震のときの死傷者は総人口の七・五パーセントをしめていたので、この率をそのまま現在の人口にあてはめれば、死者一二万人、負傷者五万二、〇〇〇人という計算になります。

母 だれも自分は死なないものと思っっているでしょうが、考えてみれば恐ろしい話ですね。で、どういう対策が考えられているのかしら。

先生 まず密集、それから住宅と工場がまじりあって

いる状態をなくすことだと思えます、同時に十分な広さの避難空地と十分な幅の避難路を、都市計画でつくりだしていくことが基本的に必要でしょう。しかし、これは都市を全面的につくりかえることですから、その簡単にはいきませんね。横浜市では、全市域で一一三カ所が大地震の時の避難地として指定されています。空地面積にしておよそ四四〇万平方メートルで、多くが五万平方メートルに満たない学校の校庭・児童公園・工場・グラウンドなどの小さな避難地です。災害時には、中途半ばな面積では危険な場合があります。そこで、都市防災の責にあたっては、消防局では、市内の団地を避難地として検討しているそうです。たとえば、磯子区の汐見台、旭区の左近山など一〇カ所ほど考えられています。団地が避難地としてすぐれているのは、延焼の可能性が少ないことと、水利・通信施設・連絡路などが恵れているということです。問題は、災害発生時に市民一人一人が被害を最小にするように避難し、防災活動に取り組めるように備えられているかどうか

です。

父 避難場所が指定されているそうだが。どうだ、みんな知っているかな。

母 知らないわ。

先生 私も、市でつくった地域防災計画という本を読んではじめてわかったんですよ。こんな重要なことは、市民一人一人がよく知っていないと、いざというときの役にはたちませぬね。それに、避難の道順も安全でなければ無事に避難できるかどうかわからないし。もっとも、市でもまだ自信がないらしく、いま、しっかりしたものをつくっているそうですよ。とにかく、急いでつくってもらわなければね。

息子 一人一人が被害を最小にするように、といわれても、僕はどうしたらいいのか、あぶなっかしい気がするな。

先生 実際に地震がおきたら、こんなことを心がけていたらどうでしょうか。第一には、大地震でも振動は一分間以上はまず続かないから、あまり動きまわると

かえって危険なことがある。第二には、かならず火元を消すこと。第三には、火災がなければ広いあき地へ避難するのがよい。第四には、むやみに余震に恐れず、デマにまどわされないこと。第五には、発生時以前のことになりますが、非常用の水・食料を常時確保しておく心がけが必要だろうと思いますね。

父 そんな大災害でなくとも、横浜はちよつとした大雨がふると浸水したり、ガケくずれがおきて、人が生き埋めになるような事故が起こるね。

先生 横浜市は急激な人口の流入による急造の造成地が多く、丘陵地帯では住宅建設がどんどん進行しています。急な傾斜をもった地形であると同時に、地質的にも関東ローム層でおおわれており、非常に水を吸いやすく、こわれやすいということがあります。また郊外部の宅地開発は、雨水の流れを変化させ、下流域での浸水災害を発生させますので、宅地開発にさいしては排水施設の整備をかならずおこなうべきでしょう。ガケくずれの危険箇所は、南区・戸塚区・中区などに

多く、市内全域では五一三カ所もあります。みすみす危険だとわかっているようなやり方で宅地開発がおこなわれ、家が建てられ、そういう所に住まなければならぬというのは、住宅問題の反映だと思えます。

娘 日本の住宅は、木造が多いうえに、場所を選ばずにびっしりと建てられていますね。だから小さくてすむ災害が、大きな災害になってしまう例も多いと思います。

父 地価の上昇もあって、住まいにゆつたりとしたオープンスペースがつくり出せない。地震・火災・爆発などの大きな災害の被害を最小限にするのに役立つのが、こうした空間の存在であるはずだが。

先生 都市生活での危険を考える場合には、住宅とか工場とかいった都市の機能がまじりあっていることと、オープンスペースのない過密な状態にあることに問題があるわけです。都市に蓄積されている色々なエネルギーの存在が、つねに危険を発生させる可能性をもつものとすれば、都市の構造、つまり土地利用の、貧し

表 1—21 災害危険箇所の状況

	総数	洪水	滞水	高潮	がけくずれ	震災	津波
総数	1,023	71	65	119	513	172	83
鶴見	97	2	8	12	14	46	15
神奈川	93	1	10	21	41	9	11
西	87	8	6	20	29	12	12
中	102	0	0	13	55	24	10
南	147	12	7	7	84	20	17
港南	40	5	7	7	19	2	0
保土ヶ谷	71	0	4	1	44	19	3
旭	8	0	2	0	6	0	0
磯子	91	0	8	12	51	12	8
金沢	117	2	7	26	53	22	7
港北	34	2	6	0	22	4	0
緑	12	6	0	0	5	1	0
戸塚	113	26	0	0	86	1	0
瀬谷	11	7	0	0	4	0	0

注：昭和44年現在

さもふくめた意味での無計画性が、災害を大きくする原因になっている。いずれにしても市民は、すべての危険・災害からまもらなければならないことを、あらゆる都市づくりや生産活動の前提とするように要求し、行動すべきだと思います。

ゴミの始末

先生 さて、さきほどの公害の問題は、廃棄物の問題ですね。大気汚染は気体廃棄物、河川や海の汚れは液体廃棄物、それらの処理がうまくいってないために空気や水がよごれるわけです。そこで、こんどは、気体・液体にたいして、家庭や工場などからでる固形廃棄物であるゴミの番ですね。

娘 私たちは団地にいるからゴミの仕末に困ることも少いけれど、普通の家庭ではなかなか面倒なようね。

母 そうね。週に一回か二回ぐらいでしょう。夏なんか、どうしても不衛生になるのじゃないかしら。

息子 このごろは、家庭に配られる広告が多いし、な

んでもかんとんに捨てる時代なんだから、ゴミの量もずいぶんふえているのだろうな。

先生 たしかにゴミの量は急速にふえていますね。昭和二十五年と四十四年をくらべると、人口は二・三倍だというのに、ゴミの方は一四・五倍です。全家庭が一日にだすゴミの量は約一、三〇〇トンで、小型収集車で一、〇〇〇台分に相当します。年間には約五一万トンと、ぼう大な量です。

ゴミの収集世帯も年々ふくらんでいて、四十五年度は六三万世帯。すべて市直営でおこなっています。収集方法は、家庭ごとにゴミ箱から集める一般収集は現在ほとんどやっておらず、各家庭からポリバケツなどの容器で定められた時間に、定められた場所へ持ちだす定時制収集方式がとられています。四十五年度からは全域が週二回以上になりました。

母 こわれていらなくなった家具やテレビの始末も困るわね。クズ屋さんも持っていきつてくれないし……。

娘 大型ゴミは市で集めてくれるのよ。でも、すぐ持

表 1—22 横浜市の昭和44年度不要耐久消費財収集状況 (昭和44.6.～45.3.)

品目	個数	1,000世帯 当り (個/1,000)	1個当り 世帯 (世帯/個)	重量 (t)	重量 構成比 (%)
電気器具	テレビ	6,134	5.6	180	171.3
	ラジオ	3,635	3.3	303	30.5
	冷蔵庫	2,366	2.1	466	165.2
	洗濯機	3,314	3.0	334	177.4
	掃除機	1,499	1.4	736	18.4
	コタツ	2,518	2.3	438	18.4
	電気釜	1,645	1.5	670	12.3
	蛍光灯	6,865	6.2	161	18.4
	計	27,976	25.4	611.9	28.5
	厨具	石油ストーブ・コンロ	3,959	3.6	279
ガスレンジ・コンロ		1,959	1.8	563	28.0
流し台		1,450	1.3	761	40.8
計		7,368	6.7	96.8	4.5
家具	ふとん・マットレス	4,451	4.0	248	121.5
	タタミ	4,852	4.4	227	208.4
	タンス	2,964	2.7	372	121.5
	椅子・机・テーブル	20,037	18.2	55	286.5
	建具類	21,823	19.8	51	130.2
	計	54,127	49.1	868.1	40.4
諸車	自転車	3,448	3.1	320	104.6
	三輪車	2,953	2.7	373	41.2
	乳母車	1,934	1.8	570	25.7
	計	8,335	7.6	171.5	8.0
その他	ビン・缶類	74,067	67.2	15	159.9
	その他	95,216	86.3	12	239.9
	計	169,283	153.5	399.8	18.6
合計	267,589	242.3	4,2148.1	100.0	

注：清掃局調べ

どちらかによって処分されます。四十四年度の市実績では、六三パーセントが焼却処分、三七パーセントが埋立処分となっていますが、企業などから直接、埋立処分地に持ちこまれる分をいれると、この率はちょうど逆になります。埋立処分地は五カ所ありますが、いずれも内陸で、人工島ではありません。しかし、こうした用地もなかなかなく、将来は全部焼却するようにしなければならなくなると思われます。市では磯子工場につづいて、四十七年度には旭工場、四十八年度には港南工場を完成させる予定のようです。

息子 しかし、ゴミ焼工場が近くにすることは、どこでもいやがられてるでしょう。

娘 旭工場は白根町にできるのですね。あの地区の人たち、ずいぶん反対運動をやっていたようでしたが。

母 ゴミは早くもっていけ、ゴミ焼工場がくるのはいやだ、というのでは虫がよすぎるとわかってはいますが、私たち、やっぱりゴミや下水はねえ、どうも……。

先生 それがだれでもの本音でしょうね。これまでの

ゴミ焼場のイメージは、煙・悪臭・汚水・ネズミ……好きな人はいませんものね。しかし、家庭のゴミや産業廃棄物は今後も急速にふえる一方です。昭和五十五年までに、旭・港南工場をふくめて九工場をつくらないと、市内のゴミを一〇〇パーセント焼却することはできない。かといって、交通混雑がますますひどくなることを考えると、工場を人里はなれた郊外につくることはできない。市街地に土地をみつけるとなると、これまでのゴミ焼場のイメージのままではとてもだめだ。あのイメージでは、住民はどこでも受けつけないでしょうから。

父 ヨーロッパの清掃工場は、地域の住民に工場の余熱を利用していているという話を聞いたことがあるが。

先生 スイスのベルンの工場など、すでに一九五四年にできたのだが、隣りあって建っているチョコレート工場や病院・学校などに蒸気を送っており、外観もそうした環境の中で少しも異和感がなく、スマートにできている。ロンドン・パリ・ミュンヘン・ウィーンな

どの清掃工場も、それぞれ地域の動力源・熱源に利用されています。外国では都市計画をつくる時に、清掃工場が重要なポイントとして考えられているのだが、これまでの日本にはそれがなかった。いつも片すみに追いやられていた。

息子 旭工場もゴミ焼場のイメージですか。

先生 いえ、あそこはたまたま谷を埋め立てた土地があり、ゆったりしているので、いま市では、公害にたいする配慮はもちろん、敷地の中に温水プールとか老人施設などをつくれぬものかと考えているようです。ここでゴミ焼場のイメージ・チェンジをしないと、将来、清掃工場の敷地さがしは、ますますむずかしくなるでしょうからね。

息子 イメージ・チェンジ、うまくいくだろうか。

先生 うまくいかせないと、困るのは市民ということになりますよ。大気汚染でも、河川汚濁でも、都市廃棄物の処理をおろそかにしたむくいですね。おろそかにした責任は市民にないのだけれど、環境が破壊され

て泣く被害者は市民です。固体廃棄物であるゴミの処理をどうするか。敬遠しているだけでは、また被害者になりそうです。回収・利用の方途もふくめて、もっと真剣に考えられるべき問題ですね。

下水の処理

父 し尿はゴミよりもっとたいへんだね。くみ取りがないといった苦情もけっこうあるようだ。ゴミとちがって、ほとんど業者がやっているの、主婦たちは強くさいそくしくいらしいね。

母 その点、団地は水洗便所でしあわせですよ。

先生 横浜市では、し尿は九六パーセントを業者が集めています。おおむね月二回収集というのが標準になっていますが、主婦の苦情が絶えないところがみると、まだ問題があるようです。それから、収集の時の臭気による不快感をなくすため、昭和四十四年度からバキュームカーに脱臭装置を取り付けました。しかし、根本的には、やはり下水道ですよ。下水道を早く整備し

表 1—24 し尿処理の推移

(単位: kI)

区分 年次	排出量	処理区分			自家処理
		下水道処理	浄化槽処理	くみ取り処理	
35	562,372	—	32,004	456,598	73,770
36	590,643	—	39,766	478,751	72,126
37	559,064	—	49,930	462,934	46,200
38	651,979	8,551	69,366	514,296	59,766
39	687,023	14,128	99,066	526,562	47,267
40	749,955	16,002	113,921	571,879	48,153
41	802,400	28,300	142,200	595,792	36,108
42	813,700	34,010	161,700	593,075	24,915
43	820,270	46,200	151,000	607,417	15,653
44	879,185	76,035	161,908	632,882	8,360

注: 清掃局調べ

て、全市を水洗化すること、それ以外の方法はありませぬ。

息子 下水道ができれば、川もきれいになるのでしよう。

先生 当然ですね。家庭汚水・工場汚水・雨水、それらの大半がいまは河川に流れこんでいますからね。川の汚れ、海の汚れ、これは結局、下水道の整備によって解決するのがもっとも有効です。

息子 外国の都市では、下水道の普及率はずいぶん高いのでしよう。

先生 普及率が七〇パーセント以下などという都市は、世界の常識からいえば近代都市とはいえないでしょう。国の総人口にたいする下水道利用人口の割合をみても、イギリス九〇パーセント、アメリカ六八パーセント、西ドイツ六三パーセント、フランス四〇パーセントにたいして、日本はわずか一八パーセントですからね。

息子 どうして、そんなに遅れているのですか。

先生 一番根本には、下水道、つまり水洗便所にたい

表 1—25 世界主要都市の下水道普及状況

都市名	普及率 (%)	年
シカゴ (アメリカ)	100	1964年
ロスアンゼルス (アメリカ)	80	1966
マンチェスター (イギリス)	100	1966
オックスフォード (イギリス)	100	1966
ボンベイ (インド)	39	1964
モントリオール (カナダ)	84	1966
オタワ (カナダ)	72	1966
ジュネーブ (スイス)	80	1966
ストックホルム (スウェーデン)	100	1965
マドリッド (スペイン)	45	1964
ボン (西ドイツ)	77	1963
ケープタウン (南アフリカ)	73	1966
横浜	41	1969

資料：「昭和43年度版公共下水道統計」（日本下水道協会）

する一般の認識が低かったということがあてはまるといえる。日本の都市は、農村といり組み、隣りあつてできていったせいもあり、戦前はあれが肥料にうまく還元されてきた。戦後になってからは、バキュームカーが

きて、象の鼻のようなものを突っこんでプープをやるのが、さも当然の日本の風景というふうにならなくてはならぬ。

息子 でも、このごろは、便所は水洗でない。

先生 ええ、たしかに水洗便所への要求は高まっています。しかし、こういう事実もありますよ。横浜市の中部下水処理場の区域、つまり山下・山手・千代崎・本牧などの都心地は、三十七年から水洗化できるようにになっているのに、普及率は七五パーセントで頭打ちになっています。水洗化のための費用の一部は、市の方で融資しているのですが、残る二五パーセントの人たちはいまだに例の象の鼻でしんぼうしている。

娘 一般の下水道にたいする認識の問題のほかに、下水道工事には道路などにくらべて、たくさんのお金がいるということもあるでしょうね。

先生 そう、それも大きな理由ですね。一メートルの下水道を埋めるのに、幹線でしたら五〇万円もかかるそうですから。とにかく、この事業には大変な費用が

かかります。現在、横浜市の普及率はやっと市街地面積で四〇パーセント程度になりましたが、それはこのところ一年に一〇〇億円という巨費を使ってきたからです。四十六年から始まる国の第三次下水道整備五年計画では、横浜市だけで一、七〇〇億円にのぼるお金が必要で、それも、市街化区域の六七パーセントの普及率を目ざしての数字なのです。全市一〇〇パーセントといったら、気の遠くなるようなお金ですね。もっとも、これまで、横浜市の普及率は、日本の他の都市にくらべて低かったため、資金もそれだけ多く必要なわけですが。

娘 横浜は早くから開港し、外人も多くいたのですし、下水道の歴史は古いはずですが。

父 明治十七年だったと思うが、外人居留地にレンガづくりの下水管をつくったのが、下水道のはじまりじやなかったかな。

先生 だから、たしかに歴史は古い。しかし、大正十二年と昭和十二年の二回にわたって下水道計画をたて

たのに、不幸なことに関東大震災と第二次大戦のため、どちらも着工できず、結局、取りかかったのは、戦後の昭和二十五年からといっていいでしょう。それも、アメリカ軍の接収で障害にあっています。みなさん、横浜駅西口のデパートでトイレにいかれるでしょう。

あれ、きれいな水洗便所のようなのですが、じつは下水処理場につながっていない。専用の浄化そうで不完全に処理されて、流されている。これはあの辺一帯を管轄する計画の神奈川処理場の予定地が接収されているため、まだ建設できないからです。三十九年から市民運動として接収解除を要求していますが、これができると、将来処理人口一〇万人の能力をもつ処理場となります。そのような戦前・戦後の事情から、横浜の下水道が他都市にくらべて遅れていたのは、やむをえなかったともいえます。それは、とにかく、最近では、さきほどふれたように、少しづつ遅れを取りもどしてきています。

娘 そういっても、普及率の上がっているのは都心部

だけでしょう。

先生 たしかに、いままでは都心部に重点がおかれていました。しかし、郊外部もどんどん市街化が進んでいますので、これからは郊外部にも下水処理場や幹線下水道の建設に力をいれていく計画のようです。効果をあげるために、開発事業者の負担で幹線と下水管を整備することも考えられています。

息子 象の鼻のくみ取り風景・真っ黒な川・汚ごれた海、それをなくする決め手は下水道以外にない。しかし、膨大な金がある。だが、そこでたじろいでいたのでは、文字通り百年河清をまつことになる。

先生 四十五年に、公害基本法にもとづいて水質汚濁に関する環境基準がもうけられ、全国で四七の水域の水質基準が決まりました。市では鶴見川が指定され、将来、東京湾とこれにそそぐ各河川も指定される予定です。だから、このためには下水道の整備をいま以上に急いで、家庭や工場から排出される汚水を直接河川に流すことをやめなければならなかった。鶴見川水

域だけでも五〇〇億円という膨大な費用がかかるが、おっしゃる通り、そこでたじろいたのでは、ほんとに百年たってもだめですね。

水は大丈夫か

母 下水のつぎは上水、飲み水の番ですかねえ。

息子 僕たちの飲む水はどこからくるのかな。

先生 横浜の水は、道志川系統・相模湖系統・馬入川系統といずれも神奈川県内の湖や河川の水を使っています。一日あたりの水源保有量は、道志川系統一七万吨、相模湖系統三八万吨、馬入川系統二六万吨、計八一万吨で、不足水量は相模原沈澱池の貯水から補給しています。

娘 横浜の人口は毎年、急ピッチでふえているでしょう。水不足の心配はないですか。

先生 大いにありますね。将来の横浜の水をどうするかという問題は、いま大きな問題になっています。横浜市では、昭和四十年から馬入川の寒川地点で第七

回拡張工事をやっております。四十六年には完成して、あらたに一日五〇万トン取水できるようになりませんが、四十八年ごろには給水人口も二五三万人にふえて、一日一人あたりの使用量も五八リットル程度と見込まれます。そうすると一日の需要量一四八万トンと推定されますので、これだけの増加ではまだたりません。そこで、県内では最後の河川である酒匂川から水をとることになっていきます。

父 水源がないのは、横浜だけではないでしょう。神奈川県全体が人口増加で水不足になろうとしているのではないかな。

先生 そうですね。それで酒匂川の総合開発事業も、横浜市・神奈川県・川崎市・横須賀市が共同して『神奈川県内広域水道企業団』をつくり、総工費一、七二〇億円ですすめているのです。この事業で、横浜市は五六万立方メートルの水をえることができるので、昭和五十年まではまかなえます。しかし、五十年以降は県外の河川、利根川や富士川に水源を求めるか、海水

図 1—8 総人口と使用水量の伸び

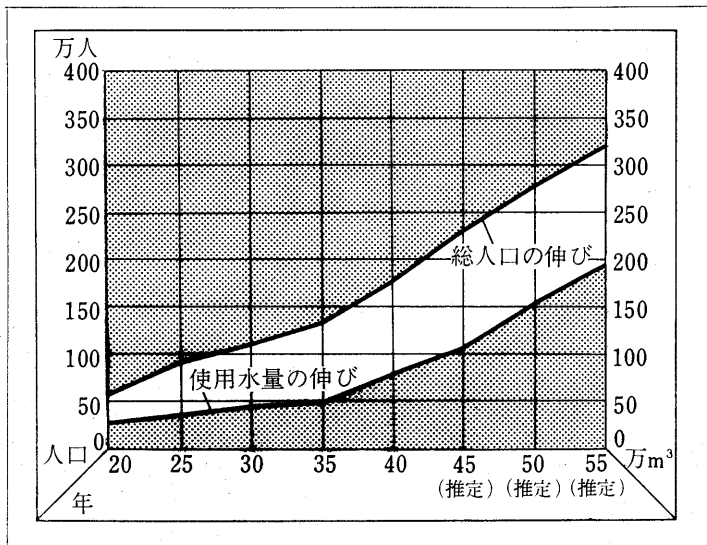


表 1—26 50年時点における水系別の取水量
(水利権量)

水系名	取水地点	取水量 (m ³ /日)		
		上水	工水	計
道志川	鮑子	170,000		170,000
相模川	相模湖	380,000	100,000	480,000
相模川	寒川	759,000	263,000	1,022,000
酒匂川		605,200		605,200
計		1,914,200	363,000	2,277,200

注：水道局計画課調べ

の淡水化をはかるほかはなく、これは今後の重要な課題となっています。

母 そうですか。酒匂川が最後でそれ以後は、もう県

内では飲み水にする川はなくなるのですか。

父 それははじめて知ったなあ。

母 でも五十年といえば、あと五年しかないでしょう。その間に新しい水源が見つかるか、または海水を淡水にする技術が見つかったとしても、工事期間も必要だし、まにあわないのではないですか。たいへんなピンチじゃないですか。

娘 そんなピンチになっていることを、ほとんどの市民は知らないのではないでしょう。道路の舗装や下水道もたいせつですが、飲み水がないという話は深刻ですよ。

先生 たしかに、大変な問題です。全国の降雨量は、年間六、〇〇〇億トンで、蒸発したり、地下にしみたりする分を除いた残りは四、〇〇〇億トンといわれています。このうち二五パーセントにあたる一、〇〇〇億トンが上水・工業用水・農業用水・発電など、多目的に利用されていますが、七五パーセントは利用されないで、海に流れこんでいます。大都市に近い川ほど

利用率は高く、相模川や多摩川は六〇パーセント、利根川は三五パーセント、酒匂川は一パーセントです。全部利用しつくすわけにはいきませんが、上流にダムをつくれれば、もっと利用することができるとは思います。しかし、むずかしい問題があります。水利権という、むかしからの慣行による水利の権利です。もっと利用できる川もあるのですが、水の需要側と水源側の利害が円満に解決されないかぎり、水問題の解決は不可能といえましょう。

娘 そうすると、一つの自治体の努力だけではどうにもならない。

先生 そう。水問題は、広域的に解決しなければならぬところから、国でも水資源開発公団をつくって利根川（いままでは神奈川県は除かれていて五〇年以降分配可能）の総合開発などに取り組んでいるほか、あらたに相模ダムをつくる計画や、首都圏各地を結ぶ広域導水路計画なども構想されています。水問題の国家的解決も必要ですが、同時に自治体相互の理解と連帯

を深めることも必要です。このためには水の需要側としても、ダムの建設によって水没する住民にたいして、十分な補償はもちろんのこと、生活再建のための積極的な援助措置を講ずるなどして、相互理解をふかめていくことが必要です。同時に、大都市への産業と人口の集中、とくに東京湾岸にこれ以上工場が集まることに強いブレーキをかけていくべきでしょう。

道路と自動車

父 さて、つぎは道路の話にうつるとして、市の広報紙によると、横浜は通学・通勤・買物などの小道路の舗装に力をいれているようだね。

母 そういえば、このへんもずいぶん舗装されて、以前にくらべればぬかるみ道も減ったようね。

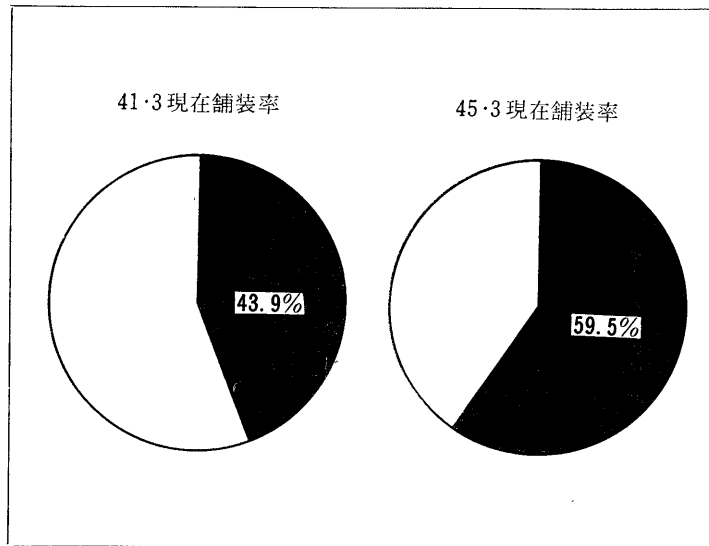
息子 でも舗装すると自動車がはいりこんでくるし、そんなにありがたくないな。

父 そのへんはむずかしいところだな。自動車にはいいりこまれるのは迷惑だが、やはり道路は舗装してある

のが当然だろう。小道路の舗装は、人間の歩く道を大事にしようという考えだと思ふが。

先生 横浜市の道路行政をふり返ってみると、その中味は、戦災などで崩壊した道路の復旧と、産業基盤を中心とした幹線道路の整備だったといつてよいでしょう。しかし、ここ数年、そうした道路行政を改めて、市民の一番よく使う小道路にも力を入れてきております。通勤・通学・買物などの小道路はほとんど市道で、その整備は道路管理者である横浜市が市の経費でもっておこなわなければなりません。国道や主要地方道（県道・市道のうち重要と認められた道路）の場合、法律で国が四分の三―二分の一を補助するのと大きな違いです。だから小道路は従来あまり手がつけられていなかったのですが、三十八年度から重点施策として取り上げ、舗装率も三十八年の三一・六パーセントから四十五年三月には五九・五パーセントまで上がりました。四十五年度予算では通勤・通学路の新設舗装や修繕だけで二八億円、他の六大都市の数倍の経費とい

図 1-9 道路の舗装



われています。

娘 小道路の整備もそうですが、道路はもともと人間が歩くためにあるわけでしょう。だから、以前から伊勢佐木町がやっているように、自動車をシャットアウトして、「歩行者天国」をどしどし実現してほしいわ。それに歩道・車道の区別のないところには、かならずガードレールがなければね。

母 歩行者優先の対策だわね。でも歩道橋もそのつもりでつくったのでしょけれど、風の強い雨の日はぬれてしまうし、だいいち、老人や病人のことをどこまで考えているのかしら。

娘 乳母車をかかえて困っている奥さんを見たことがあるわ。たしか、東京の国立市では、市民のいこいの場として親しまれてきた大学通りに都が歩道橋をつくるというので、裁判されたにまなったけど。歩道橋が市民の生活環境を破壊しているという住民の主張はよくわかるような気がしますね。

先生 たしかにそういった困った点は多いですね。市

でも、四十五年の三月までに一二八の歩道橋ができましたが、とくに学童の登・下校時の安全ということに重点がおかれたようです。それは応急の策としてどうしても必要だったわけですが、歩道橋はふえても、四十四年中の学童・幼児の交通事故による死者の数は前年にくらべて小学生の九人増加をはじめ、中学生と幼児をあわせて一四人もふえています。それどころか、歩行者の死者数は一四〇人で、全体の六〇パーセントをしめ、前年にくらべて三二人もふえています。だからいくら歩道橋をつくっても、もっと根本的な対策をとらないかぎり交通事故による被害者を減らすことはむずかしいでしょうね。

母 歩道橋が決め手にならないとしたら……。

先生 要するに、加害者である自動車を野ばなしにして、被害者である歩行者だけに犠牲をしいる方向で解決策をみつけようとするところに問題があるのです。最近、やっと歩行者天国なんていうことがいわれてきました。人間が道路を自由に歩けるというだけで天

国とよぶなんて、みじめ過ぎますよ。国では四十六年度から、乳母車でも車いすでもオーケーというスロープ型の歩道橋をつくったり、通学専用道路に二分の一の補助をつけるなど、歩行者優先の政策に転換するといっているようです。それも一応けっこうかもしれないませんが、なんといっても、都市における自動車をどうするかを根本的に考えなおしてみるのが、今後の道路行政の大きな課題といえるでしょう。

都市のみどり

娘 道路がそれほどふえないのに、車がふえる。それと歩調をあわせるように、公園がふえないのにいたるところでみどりがつぶされていく……。

父 人間は、木や草の中でくらす平和をすっかりあきらめてしまったようだね。

息子 外国の写真を見ると、大都市にはすばらしい公園があるのに、日本には少ないね。

先生 横浜のみどりを、という声は全市民の声でしょ

う。横浜市民一人あたりの公園面積は一・三五平方メートルで、都市公園法に規定している六平方メートルにおよびません。もちろん欧米諸国の大都市ではすでに一人あたり十数平方メートルもあるのにくらべると、かなりおくらっています。

娘 公園の必要性は前から叫ばれているが、どうもかけ声だけに終わっているような感じですね。ほんとにその気さえあれば、もっとできるような気がしますが。

先生 たしかに、そうもいえるでしょうね。公園は、ぜいたく品ではなく、必需品だといわれるが、実際にはまだぜいたく品扱いですね。道路をつくるために、公園がけずられたりしている。国の予算をみてもわかりますよ。横浜市の四十五年度の公園予算は一億二億円で、国の公園予算は国立公園の分を除くと、全体で四五億円にすぎない。これは高速道路にすると、せいぜい二キロメートル分にしかならない。市に配分される国費は、わずかに二、〇〇〇万円ですよ。国がいままでの一〇倍、いやそれ以上の積極的な姿勢をとらな

表 1—27 横浜市の公園

区別	一般公園 (m ²)	児童公園 (m ²)	計 (m ²)
鶴見	61,339 (3)	57,696 (19)	119,035 (22)
神奈川	413,906 (7)	80,784 (43)	494,690 (50)
西	134,147 (3)	32,922 (17)	167,069 (20)
中	469,767 (7)	32,435 (21)	502,202 (28)
南	71,429 (2)	51,353 (30)	122,782 (32)
港南	— (—)	1,607 (3)	1,607 (3)
保土ヶ谷	179,790 (2)	34,188 (16)	213,978 (18)
旭	— (—)	29,630 (19)	29,630 (19)
磯子	43,607 (1)	21,844 (12)	65,451 (13)
金沢	189,410 (1)	33,472 (23)	222,882 (24)
港北	55,419 (2)	19,283 (12)	74,702 (14)
緑	47,853 (3)	61,962 (24)	109,815 (27)
戸塚	14,761 (1)	22,895 (17)	37,656 (18)
瀬谷	— (—)	22,375 (12)	22,375 (12)
計	1,681,428 (32)	502,446(268)	2,183,874(300)

注：1.昭和45年4月1日現在 2.カッコ内は設置箇所数 3.計画局公園施設課調べ

いかに、都市のみどりをふやすことはできないんじゃないでしょうか。

父 それに公園はどうも都心部にかたよっているようだね。郊外部にも今後はもっとほしいね。横浜にはどんな計画があるのだろうか。

先生 そうですね。横浜市には、現在一般公園が八カ所、近隣公園が二四カ所、児童公園が二六八カ所、合計三〇〇カ所二一八ヘクタールの公園がある。そこで四十四年度を初年度として五カ年計画で、市民一人あたりの公園面積を一・三五平方メートルから一・七四平方メートルに引き上げる予定です。大通り公園・子供自然公園・海の公園・根岸森林公園をあらたにつくるほか、フランス山を公園にし、さらに岸根・子安台など六カ所の近隣公園ができます。また児童公園を一七八カ所新設、一〇〇カ所を改良して充実させる予定のようです。この五カ年計画のあとの長期計画としては、公園緑地の最終目標を市域の約六パーセントの二、四〇〇ヘクタールとし、一般公園一、二〇〇ヘクタール、

近隣・児童公園一、二〇〇ヘクタールをつくる構想をたてています。

娘 地価が高いから、公園用地を手に入れるのも、今後ますます困難になるでしょうね。

先生 その通りです。新しくできた公園は、区画整理事業とか、宅造事業とか、埋立事業によって土地をえる場合が多いですね。これらは開発区域の三パーセントを公園に提供しているわけで、これだけでは公園面積も大幅にはふえませんが、それから、海の公園は金沢埋立地にできる予定ですが、森林公園は旧根岸競馬場跡地をあてようとするものです。これだけの広大な面積は、都心部では最終のチャンスかもしれませんね。大通り公園は吉田川の埋立によってつくられますが、とにかく公園敷地については、今後大いに知恵を働かせなければならぬでしょう。

子供と学校

母 話は変わりますがね。先日、引越してこられた

Aさんが、家にきて、子供をあずかってくれないか、とおっしゃるの。いきなりなので、びっくりして理由を聞きましたら、前に住んでいた所では、子供を保育所にいれて勤めにでていたが、こちらにきてからは保育所が満員なのであずけられず、なんとかお願いできないかって。

父 最近では、共働きの人がふえているなあ。うちの会社でも女性がふえた。それも子もちの人が多くなっているよ。これからは、会社でも託児所をつくらないと、人を集めることができないようになるのではないかな。
先生 職場への女性の進出はいちじるしく、一五歳以上の女性の半数は働いています。そして、平均稼働年齢も年々高くなり、昭和四十一年で二八歳台になっています。平均稼働年齢が高くなるということは、当然、子供をもった女性労働者もふえることであり、その結果、保育所の需要が高まるということになります。しかし、いまはそれに見合う供給がないため、電々公社をはじめ各企業が、労働力確保のため職場保育所をつ

くり始めています。もちろん、こうした企業の施設は、子供の環境上、検討すべき問題もあるようですが。
娘 よそにくらべて、横浜には保育所が少ないのではないですか。

先生 四十五年八月で市立二九、私立七〇、合計九九カ所あります。人口増のいちじるしい都市では、どこも保育所不足です。いま、横浜市内で保育所を必要とする子供は一万三、〇〇〇人で、施設は八、五〇〇人分です。ですから、あと四、五〇〇人分、つまり、七五カ所の保育所が必要なわけです。そこで、横浜市の計画をみますと、毎年市立六カ所、私立五カ所をつくるという。これは三十八年から続けられており、当時の市立七カ所が、現在二九カ所にまでふえています。しかし、それ以前の数が他都市にくらべて少なかったことが原因で、現在、まだ低いレベルにとどまっています。まあ社会資本といえますか、いままでのたくわえというのですか、横浜市の場合、戦災につき米軍基地の接収などがあって、ほとんどの都市施設が遅れて

表 1—28 六大市保育所設置数比較

都市名	37年度末①		44年度末②		増加数 ②-①	
	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)
横浜市	58	5,321	92	7,639	34	2,318
名古屋市	136	10,687	154	15,456	18	4,769
京都市	127	9,308	145	12,214	18	2,906
大阪市	129	9,367	170	14,852	41	5,485
神戸市	40	2,669	64	4,973	24	2,304
北九州市	68	5,995	84	6,760	16	765

注：民生局児童課調べ

います。その遅れを取りもどそうと考えても、こんどは急増する人口の手当に追われて、手いっぱいという状態、そのことについてはすでに話ができましたが、保育所についてもその例外ではありません。

息子 どうしてもっと建てないのですか。保育所を建てる場合、国からお金がでるのでしょうか。

先生 国の福祉行政は補助行政といって、費用の全額を国がだすのではなく、自治体のやることに補助金をだすわけです。しかし、これが十分でないところに問題があります。たとえば、横浜市で保育所を一カ所建てると、一、五〇〇万円はかかります。ところが国では一五〇万円しかだしません。法律の規定や国の説明だと、費用の二分の一を補助することになっていますが、実際はちょうど一〇分の一しかだしていない勘定になりますね。

息子 国が法律違反をやっていることになるな。

先生 こういうことを超過負担といい、不合理な話です。このことについては、あとで改めてふれる機会が

あるでしょう。それから保育所の土地代についても、学校用地と同じように、国は補助していません。子供が歩いていかれる距離のところに、必要があればいつでもはいれる保育所をつくるためには、用地の確保や建築のために、国の積極的な財源保障があつて当然でしょう。もちろん、市でも大きな声で要求されるところから保育所をつくっていくというのではなく、シビルミニマムを設定していくなかで、適正な保育所の数を割りだして、計画的に福祉行政をすすめることが大切だと思ひます。

娘 保育所にも問題がありますが、学校の方にも問題がありますね。このあいだ、上菅田小学校の裏に住んでいるBさんのところへ遊びに行った時のことです。校庭のまん中にプレハブの建物があつて、子供たちの遊ぶところがほとんどないのにびっくりしちゃつた。もっともプレハブ校舎は、なにもあの小学校だけのことではありませんが。

父 最近、建設が進んでいる洋光台団地について、横

浜市は住宅公団にたいして、プレハブ校舎は教育環境を悪くするので本建築ができるまで入居を延期してほしい、との要望書をだしたという新聞記事があつたが、

表 1—29 神奈川県下主要都市プレハブ校舎数

都市名	小学校		中学校	
	校数	教室数	校数	教室数
横浜市	74	346	18	59
川崎市	18	57	4	7
横須賀市	4	22	0	0
藤沢市	7	25	1	2
相模原市	8	28	3	14
小田原市	1	4	1	2

注: 1. 昭和45年5月1日現在

2. 企画調整室調整課調べ

こうした現象は横浜だけにかぎらないのでしよう。

先生 プレハブ校舎問題は、ここ数年のことで、横浜市には、小・中学校で九二校あります。神奈川県下では、川崎・藤沢・相模原・厚木など人口増のはげしい都市に特徴的にあらわれています。

母 むかしは二部授業というのがありました。今はプレハブ授業というわけですね。

先生 横浜市には小学生が一七万人、中学生が六万人いるわけですが、この一年間に小学生で一万一、〇〇〇人、中学生で二、〇〇〇人もふえています。横浜市では、明治以来一〇〇年間で二五〇校の学校を建てたのですが、今後は五年間で一二〇校を建てなければならぬといわれています。

息子 一〇〇年間に建てた学校の半分を、五年間で建てるのですか。

先生 そうです。ところで、これだけの学校を建てるのに必要な建設費ですが、小学校を一校建てるのと三億円、中学校で四億円かかります。これにたいして、国

から実際にでている補助は小学校で四分の一、中学校で三分の一程度しかありません。法律では、小学校については三分の一、中学校については二分の一を補助することになっていますが、これも保育所の場合と同

表 1—30 校舎建築費の推移

年度	学校数	教室数	建築費
40	29 (4)	200 (35)	972,708,000
41	31 (8)	214 (48)	1,061,668,000
42	40 (6)	291 (35)	1,640,948,000
43	48 (9)	389 (69)	2,387,900,000

- 注：1. カッコ内は、総数の中の中学校の分
 2. 校舎建築費は、用地費を除く
 3. 教育委員会施設課調べ

じように単価や必要施設内容などがゆがめられて見積られ、法律通りの補助はおこなわれていません。四十四年度の例でみてみますと、全建設費二七億一、〇〇〇万円のうち、国庫支出金は六億六、〇〇〇万円で、全体の二四パーセントしかだされていません。もちろん、土地も必要ですが、その土地を手に入れることがむずかしい。土地代は、国が補助しませんので、全額自治体の負担になっています。

父 そうした問題にたいして、自治体はなにか対策を考えていないのですか。

先生 全国的には人口急増地域教育長会議を中心として、国に財源補助の増額要求や、いろいろの対策を要求しています。また、横浜市では宅地開発要綱をつくり、宅地開発者に学校用地を比較的安い値段で提供することを義務づけたり、学校建設に全国ではじめて公社制度を取りいれて、増加する児童に応じられるように学校建設の先行化・大型化に努力しています。

老人のくらし

母 ハンディキャップを負う人たちの施設も、たりないようですねえ。ちょっと前に、市内のある母親が脳性マヒの子を殺した、という新聞記事がでていましたけれど、なんでも母親は、子供を施設にいられたかったが、施設が不足していたためにはいれず、看護に疲れてたというのですね。どんなに、つらかったことでしょう。

父 東京でも、老医師が身体障害の自分の子を安楽死させた、という記事があったね。たしか、その時の新聞には、昭和三十七年以降、身障家庭での殺人や心中が五一件もあると書かれていたように覚えているが。息子 いったい、身体障害者の数は、全国でどのくらいあるのかしら。

先生 身体障害者は一一五万人、精神薄弱者は五〇万人といわれています。横浜市内でも、身障者二万五、〇〇〇人、精薄者一万一、〇〇〇人と推計されています。

す。一〇〇人に一人が身障者、二〇〇人に一人が精薄者ということになります。ところが、このような恵まれない人たちへの対策が、国・県・市ともに遅れているため、新聞記事のような悲劇がおこるのですね。

息子 それでもまだ横浜は、恵まれない人たちにはいろいろ気をつかっている方でしょう。

先生 たしかに、その方面への努力はしているようですが、まだまだですね。たとえば、公立の身障者、精薄者の施設は六カ所です。三十八年には三カ所でしたから、そのころからみると倍増しているわけですが、なおかなり不足していると思いますね。

父 世の中が複雑になると、精神的にも肉体的にも安全に生きることがむずかしくなっていて、施設の必要は、そんな方面からも強くなるのでしょうか。

先生 ええ、そう、そう。日本の社会が、いまのような調子で人間生活の安らぎを忘れた方向に進むかぎり、犠牲はふえる一方でしょうね。たとえば、身障者の障害原因を調べてみても、先天的障害によるものは全体

の一割程度で、その他は病気・業務上の災害・交通事故など後天的原因ですし、さらに、最近では後者の割合がさらにふえる傾向にあります。精薄問題にしても、出産時の母親の生活環境からうける精神的・肉体的な障害のこともありますね。

娘 いまの社会との関連でみれば、老人にも切実な問題がありますね。

母 老人といえば、隣りの奥さんも困ってらしたわよ。なんでも、一週間ほど前にいなかからでてこられたおばあさんが、寝こんでしまって。からだの自由がきかないらしく、たいへんらしいの。

父 老人問題か。私たちも、そろそろひとごとではなくなるなあ。だいぶ前の新聞だったが、南区で八六歳になるおばあさんが、五八歳の自分の娘さんといっしょに死んでいた、という記事がのっていたね。あまり悲惨な話だったので、二人の年まで、まだはつきり覚えてるよ。娘さんが心臓病でなくなったあと、腰のたたない老母は、その隣りで寝たまま飲まず食わずで、

三日あとになくなったというのだが。

母 日本人の平均寿命が伸びるのはよるこんでいいことなんでしようが、なんだか、いまの世の中に長く生きることは悲劇でもありませんねえ。

先生 寿命が伸びて、かえって苦しむ老人が多くなる。それは、たしかにいまの日本の現実ですね。年老いて働けない、核家族化が進んで身を寄せる場所がない、物価上昇のなかでの生活不安。多くの老人が、たえがたい孤独感にさいなまれていくことでしょう。寝たきり老人だけでも、全国で四〇万人いるのですからね。息子 それが、福祉国家の中味ですか。

先生 国が老人対策をなにもやっていないというわけではないが、きわめて不十分だということもたしかでしょう。老人問題で考えられるのは、住む・働く・健康の三点です。横浜市の最近の対策をみると、住宅については、公営住宅の中で老人のために特別のワクをもうけています。四十四年度から二〇戸という少ない数ですが、今後、積み上げていくことになるでしょう。

医療費についても四十三年度から八〇歳以上の国民健康保険受給者に九割給付をして、四十五年からは七五歳以上に全額給付するように範囲を広げています。

また、横浜市内には寝たきり老人が三、六〇〇名おり、この人たちのために特別養護老人ホームが要求されましたが、それも四十五年度に公立のものが完成しました。

娘 横浜の実情はそれとして、国の方はどうなんでしょう。

先生 老人や身体障害者などの施設は、直接には自治体がやっているわけですから、国が福祉行政にたいしてもつ関心度を知るのには、年度予算をみてみるのがよいと思います。福祉国家を自任する国々では、社会保障費の財政総支出にしめる割合が、二五―四五パーセントにも達しているのですが、日本では一五―二〇パーセントにすぎません。わが国の社会保障は、医療保障部門の給付水準が高い反面、生活保護や老人福祉といった社会福祉部門、それに年金などの所得保障部門のた

表 1—31 各都市の老人医療

都市名	対象者			給付率
	年齢要件	資格または制限要件	資格を取得する際の手続き	
仙台	80歳以上	国民健康保険被保険者	該当年齢に達した者は被保険者証を国民保険に持参し、それに該当事項（年月から自己負担）を記入してもどす	10割
堺	満80歳以上	堺市国民健康保険被保険者であること	国民健康保険の被保険者資格取得の手続き	一部負担金相当額（2割、または3割）
川崎	80歳以上	国民健康保険加入	国民加入者は満80歳になると自動的になる	10割
平塚	満80歳以上	市内に1年以上住所を有するもの	なし	健保適用分の治療費とし、各種健保組合等の付加給付を除いたもの
厚木	80歳以上	なし	満80歳に該当する1カ月前に市において通知、通知を受けた被保険者は、通知書持参のうえ手続きをする	10割
大阪	45年度において、65歳以上の居宅おたきり老人について医療費の公費負担を実施すべく計画準備中である。			
横浜	横浜市では老人医療に補助制度はもうけず、国保で75歳以上の老人の入院外来の別なく医療費は10割給付している。			

表 1—32 各国の社会保険水準

日本	6.0%
西ドイツ	20.0
フランス	19.2
イタリア	16.4
スウェーデン	15.2
イギリス	13.8
アメリカ	7.6

注：1. 対国民所得比でみた
社会保障全体の給付水準
2. 日本は1967年度、
外国は1963年度

資料：「新経済社会発展計画
の解説」

ち遅れが目立っており、国民生活の基底をかたく支える内実を十分に備えているとはいえないと思います。ちなみに、四十五年度の社会保障費は一兆一、三七〇億円で、前年比二〇・一パーセント増ということになっていますが、この伸びは医療費の改定によるはねかえりが相当部分をしめ、実際の伸びは一三パーセントとみられています。

父 じゃあ、横浜の民生予算の伸びはどんなですか。

先生 横浜市的一般会計予算にしろ民生費は、全予算の八パーセント程度です。三十八年当時から伸びをみますと、一般会計全体では約二倍ですが、精神薄

弱者関係は四・四倍、児童施設建設費は四倍、国民年金三・八倍、身体障害者費三・二倍などと、一般会計を上まわる伸びをみせています。

娘 上まわる伸びは、一応、よいことだと思います。

しかし、私の大学の先輩に福祉事務所でケース・ワーカーをやっている人がいますが、その人の話を聞くと、福祉行政にはいろいろ問題が多いようですね。

先生 問題はたくさんあるでしょう。まず福祉行政全般が、法律や通達によって細部まで決められている。

だから自治体でこれにたずさわるのは、国からの指示をまちがわれないようにやることだけにきゅうきゅうとしているといってもよいような姿で、そのため自治体に計画性も主体性もなかった。これを今後は、もつと市民に顔をむけた、市民のための行政にかえる必要がありましよう。つぎに、福祉行政は人間対人間の関係がとくに大きく作用しますので、ここにたずさわる人たちの仕事や研究・教育のしやすい環境をととのえること。これまでのように、その人たちに奉仕的精神

を期待するのではなく、よりよい労働条件をつくって暖い福祉行政ができるようにすることが大切です。

横浜の魅力

息子　ところで、横浜もそうだけれど、大都市では公害や交通事故が激しくなり、それに物価の上昇もひどいなど、だんだん住みにくくなっているでしょう。それなのになぜ、おおぜいの人びとが大都市に集中するのかな。

娘　それは、大都市には人をひきつけるなにか、広い意味で魅力といったようなものがあるからでしょうね。就職したり、勉強したりするにしても、大都会にはたくさん会社や学校があるから、地方の中小都市やいなかに住んでいるより自分に適したものを選べるでしょう。それに、流行の先端をいくことの好きな人には、どうしても都会でないと……。

先生　もともと都市には、そこに住む人にとって就職の機会を提供したり、企業にとっては取り引きに便利

であるといった経済的な魅力があります。これが都市へ人口や産業をひきつける最大の原因でしょう。ところが最近では社会的・文化的な魅力の方に重点が移りつつあるようです。つまり、生活が便利であるとか、文化生活ができるとかいったものですね。大都市の魅力について、横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・北九州の六大都市が、昭和四十一年と四十二年に共同調査をしています。この調査によると、横浜市民が都市の魅力として第一にあげているものは、第一位・生活が便利五七・五パーセント、第二位・仕事のやりがいがある一〇・〇パーセント、第三位・文化施設が多い八・六パーセントとなっており、以下、子供の教育に適する、気がねなく暮せる、という順になっています。六大都市の市民全体としての順位でも、第一位、第二位は変わらず、第三位に気がねなく暮らせる、がはいり、以下、文化施設が多い、とか子供の教育に適するとなつていきます。

父　たしか昭和四十五年の国民生活白書にも、都市の

表 1-33 大都市の魅力とはなにか

	六大都市(%)	横浜市(%)
収入が多い	(117) 3.0	2.4
余暇・娯楽施設が多い	(102) 2.6	1.3
仕事のやりがいがある	(393) 10.2	10.0
生活が便利	(1,989) 51.6	57.5
文化施設が多い	(311) 8.1	8.6
子供の教育に適する	(281) 7.3	7.8
社交の機会が多い	(55) 1.4	0.6
気がねなく暮せる	(357) 9.3	7.5
なんとなくひかれる	(134) 3.5	1.9
わからない	(113) 3.0	2.4

注：カッコ内は実数

資料：「大都市の魅力」（昭和42年，大都市企画主管者会議）

魅力というのが書かれていたようだが、横浜の魅力はさっぱりといった感じだったな。

先生 国民生活白書では、都市の魅力を図書館の蔵書数・医師数・娯楽場数といったものと人口とをくらべて、数量的にとらえようとしていました。東京・大阪

・横浜など七大都市について魅力指数をだしています。京都市が六八五で第一位、東京都が六七八で第二位になっており、横浜市は四一六で第六位です。このように横浜市の魅力指数が低いのは、はじめにお話したように、他の都市とは比較にならないほど分母になる人口が急増しているために、分子になる文化施設をかなりふやしても、人口比での指数が伸びないことが影響しているようですね。

息子 そうすると人口増加の激しいところは、魅力が失なわれていくという計算になりますね。一番魅力のあるところが、一番人口がふえてよさそうなのに。

娘 横浜の人口増は、首都圏の住宅事情からみるべきでしょうね。しかし、ただそれだけではなく、横浜には数量ではあらわせない魅力があるような感じもします。

先生 さきほどの六大都市の共同調査では、市民に「東京をふくむ七大都市の中で一番魅力を感じる都市はどこですか、自市をのぞいて一つ上げて下さい」と

表 1—34 東京を含む七大都市の中でいちばん魅力を感じる都市はどこですか、自市を除いて1つ上げて下さい。

	六大都市(%)	横浜市(%)
京都市	31.4	36.0
東京都	20.5	22.0
名古屋市	7.0	5.5
大阪市	6.3	4.1
神戸市	5.0	5.2
横浜市	3.3	—
北九州市	2.1	0.8
わからない	24.4	26.4

資料：「大都市の魅力」（昭和42年、大都市企画主管者会議）

質問しています。その結果は、横浜市民が最も魅力を感じている都市は京都市で、三六・〇パーセント、ついで東京都が二二・〇パーセントとなっており、他の都市はすべて六パーセント以下になっています。六大都市の市民全体の解答も、京都・東京が第一位、第二

位をしめ、他の都市は七パーセント以下になっており、横浜市は三・三パーセントでやはり第六位になっています。

父　そうですね。それは横浜市民にとっては残念な数字ですね。僕らが若いころ知っている横浜には、ミナト・ヨコハマがあり、異国情緒というか、国際的な性格というか、そういう印象の魅力があったが。

先生　時代の流れと都市化の波は、横浜市がいつまでもミナト・ヨコハマ的なものだけに依存することを許さなくしてしまいました。しかし、一例ですが、僕らの年代のものにはなつかしい自動車のない伊勢佐木町の散歩、いわゆるイセブラの復活がもう一〇年も前から実現していたということはどういうことでしょう。歩行者天国が、全国的にはやっと四十五年にはいって話題になったことを思うと、市民の先覚的な意識を高く評価しないわけにはいかない。それから、いくつかの調査などにあらわれているが、そうした市民と強い連けいを求めながら、新しい横浜を形成していこうと

表 1—35 七大都市魅力指数

	37年 (A)	43年 (B)	B-A	37~43年増加率(%)
東京都	537	678	141	26
横浜市	407	416	9	2
名古屋市	555	611	56	10
京都市	596	685	89	15
大阪市	491	556	65	13
神戸市	432	467	35	8
北九州市	341	401	60	17

注:

1. 大都市統計協議会「大都市比較統計年表」による。

2. 魅力指数の作成には、つぎの指標を用いた。

- (1) 文化：図書館蔵書数（人口比）、博物館等数（総合、歴史、美術、科学、動物、植物、水族）（人口比）の2項目。
- (2) 教育：幼稚園教員数（幼児数比）、大学、短大教員数（人口比）の2項目。
- (3) 医療：医師、歯科医師数（人口比）の1項目。
- (4) 消費娯楽：小売業従業者数（人口比）、娯楽場数（人口比）の2項目。
- (5) 仕事：求人求職倍率の1項目。

3. 指数は1項目ごとに37年にもっとも高い市を100として算出した。

資料：「国民生活白書 昭和45年版」（経済企画庁）

いう市政の姿勢にたいする市民側からの肯定的な評価。いわゆる異国情緒といったものの魅力は色あせたとしても、そのあたりになにかが創造されようとする胎動を感じませんか。

娘 たしかにそれは、数量ではあられない横浜のもつ現代的な特徴の一つだということは、よくわかるような気がします。しかし、音楽会にしてもその他の文化的ないろいろな集会にしても、やっぱり東京までいかないと、ということはどうでしょうかね。

先生、横浜を考える時、どうしても東京との関係を考えなければなりませんね。横浜の文化が低迷しているとするなら、それはあまりにも東京が近いため、横浜での文化が育ちにくいということに原因がありましょうね。音楽会にしろなんにしろ、東京でおこなわれるものに、横浜市民の大半は一時間もあれば行けるのですから。

父 そういう横浜にたいする、市民の愛着心は。

先生 市にたいする愛着心というのは、その市に住ん

でいるながさと関係が深いようです。住めばみやこというように、新しく横浜市に移ってきた人より、古くから横浜市に住んでいる人の方が愛着心が強い。ところが横浜市では人口の増加が続いており、また人口の移動も盛んなため、新しい市民層の割合が他の都市よりずっと多くなっています。それにやはり職場や学校が東京という人が多いため、愛着心も育ちにくいのはなかるうか。ですから、今後魅力ある職場や学校をつくるとともに文化施設を充実し、横浜という都市の中で市民の交流がなめらかにこなされるようにすることが、ぜひとも必要だと思えます。そして生活環境を整備して、国際的な風格のある都市としたいものです。それはなまやさしい道ではないでしょうが、自治体としていまの横浜には、それができるだけの能力もエネルギーもあることを信じたと思います。なお、都市づくりの市民のイメージについては、資料があります。あとでおみせしましょう。(一五〇ページ参照)

3 横浜市の行財政

苦しい市の財政

父 さきほどからずっと話を聞いていると、横浜市が、いま解決しなければならぬ問題は山ほどあるということだ。これを解決するためには、まずお金ということになるんだが、市の財政はどうなっているんだらう。苦しいとも聞いているが、新聞には、地方財政が好転している、と書いてあったような気もする。

娘 市の財政規模は、たしか神奈川県に匹敵するほどの大きさだと記憶していますが。